

令和3年度(2021年度)公共事業再評価調書

基準年月日 令和3年8月1日

Table with multiple sections: I. 基本事項 (標準日時点), II. 公共事業評価経過, III. 事業採択前の状況, IV. 事業の実施状況. Includes details on project costs, objectives, evaluation progress, and implementation status.

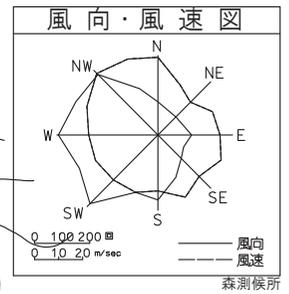
V 評価										
1. 必要性	<ul style="list-style-type: none"> ● 本事業は、航路・泊地への堆砂を抑制し、漁船の円滑な航行等に資する防砂堤の整備を行うもの。 ● 事業の必要性に変化はなく、着実に事業の推進を図る必要がある。 									
	<p>a a：事業の必要性に変化はなく予定どおり事業を推進する。 b：着工後の状況変化により事業計画の変更が必要である。</p> <p>c：着工後の状況変化により事業推進の是非を判断する必要がある。</p>									
2. 事業を推進する上での課題	(1) 環境上の配慮及び課題 <ul style="list-style-type: none"> ● 漁期と施工時期を調整し、水産業への影響に配慮している。 									
	(2) 事業推進に対する住民の動向 <ul style="list-style-type: none"> ● 地元期成会から漁港の整備促進について毎年度要望が出されている。 									
	(3) その他の課題 <ul style="list-style-type: none"> ● 特になし 									
3. 事業達成の見込み	今後の事業実施に当たって特に大きな支障や課題はないが、予定年度での完了に向けて今後は要望どおりの予算を配当する必要がある。									
	<p>a a：現時点では事業の進捗に影響する課題はなく、達成が見込まれる。</p> <p>b：課題はあるものの達成は可能である。</p> <p>c：大きな課題があり達成には相当の困難が予想される。</p>									
4. 対処方針	事業の必要性に変化はなく、地元からの早期完成要望も受けているため、令和5年度（2023年度）の完成を目指して事業を継続する。									
	<p>a a：継続 b：終了 c：休止 d：中止</p>									
	<table border="1"> <tr> <td>事業期間変更の有無</td> <td>有</td> <td>事業費変更の有無</td> <td>有</td> <td>事業内容変更の有無</td> <td>無</td> <td>目的・規模等に係る変更</td> <td>無</td> <td>左記以外の変更</td> <td>無</td> </tr> </table>	事業期間変更の有無	有	事業費変更の有無	有	事業内容変更の有無	無	目的・規模等に係る変更	無	左記以外の変更
事業期間変更の有無	有	事業費変更の有無	有	事業内容変更の有無	無	目的・規模等に係る変更	無	左記以外の変更	無	
VI 備考										
1. 評価履歴	事前評価： 該当なし 再評価： 該当なし									
2. その他の取組事項	<ul style="list-style-type: none"> ● 漁業者が中心となって、年数回漁港内の清掃活動を実施している。 									

補足資料

VII 事業計画変更						(単位：百万円)					
事業経過年度	再評価	事業採択	着手	変更年度	完了予定	事業	総事業費(a)	道負担額	当該年度事業費	累計事業費(b)	進捗率(b)/(a)
事前評価又は当初		H27 (2015)	H27 (2015)		H31 (2019)		840	252			
変更①	1回目	H27 (2015)	H27 (2015)	R1 (2019)	R5 (2023)	経	1,200	360	250	1,042	87%
変更②						過					
変更③						年					
変更④						数					
変更⑤						費					
変更⑥											
変更⑦											
変更⑧											
変更⑨											
変更⑩						6					
変更理由・内容		変更①：事業費の変更及び事業期間の延伸 (1) 現地の地盤高の変化により、基礎捨石や被覆ブロックの数量等が増え、施工量が增大したことによる増額 (2) 石材やコンクリートなどの資材費及び労務単価や消費税率が上昇したことによる増額 (3) 上記の増額及び残事業量を考慮し事業期間を延伸									

静狩地区
水産基盤整備事業 計画平面図

漁港番号	種別	所管	事業主体	管理者	施行場所
1114320	第1種	北海道	北海道 (長万部町)	北海道	北海道山越郡長万部町字静狩

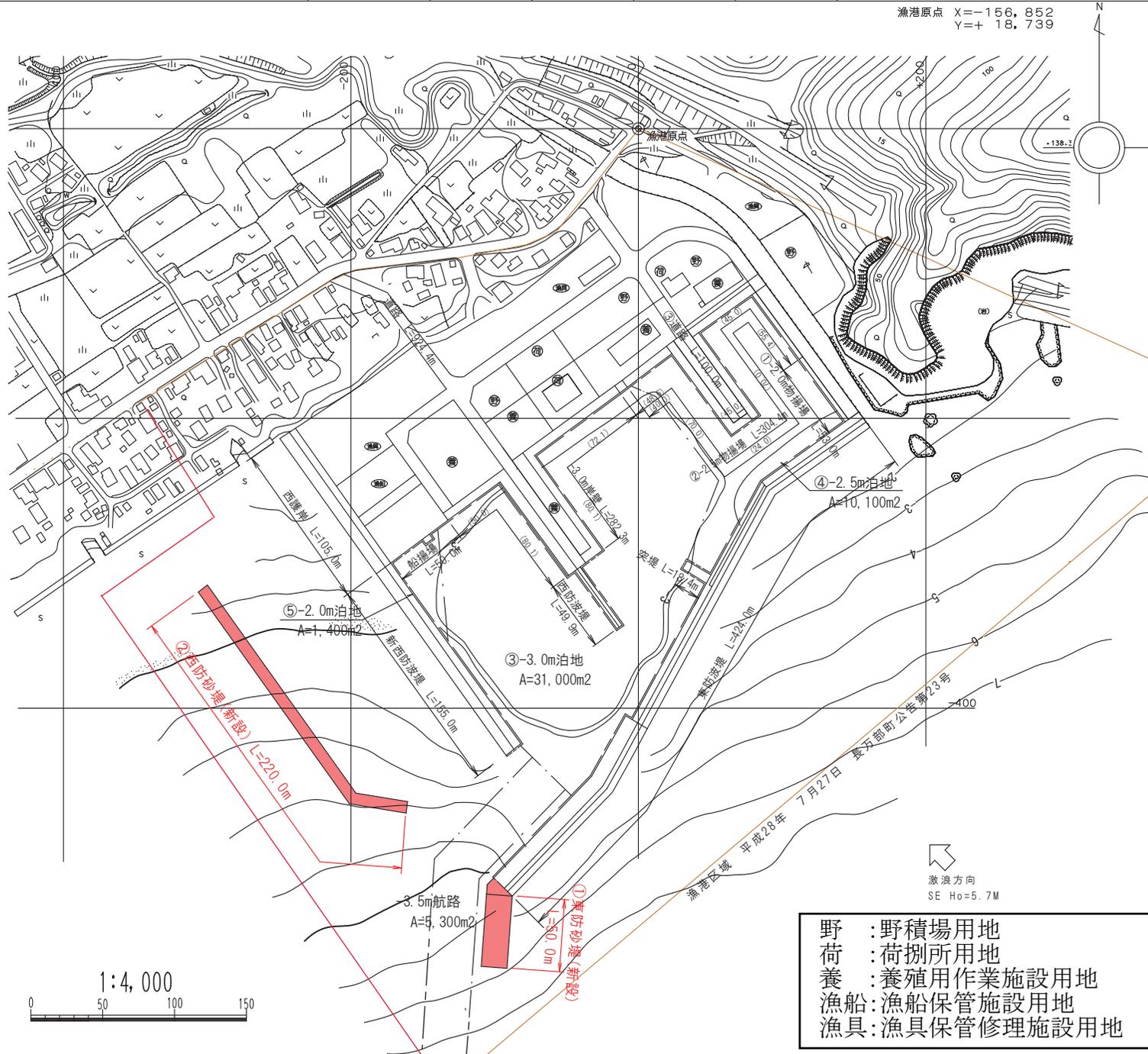


潮位図

H.H.W.L.	+2.4
H.W.L.	+1.6
T.P.	+1.0
M.L.W.L.	+0.5
(DL)L.W.L.	±0.0

凡例

■	水産基盤整備事業
------------------------------------	----------



野 : 野積場用地
 荷 : 荷捌所用地
 養 : 養殖用作業施設用地
 漁船 : 漁船保管施設用地
 漁具 : 漁具保管修理施設用地

事業名 : 水産基盤整備事業
地区名 : 静狩地区(北海道山越郡長万部町)

●事業概要

当地区は、北海道渡島半島北部の長万部町に位置し、北海道で唯一の内湾である噴火湾に面している。地域の基幹産業は水産業であり、地区内総生産額の約7割を占めている。なかでも主要漁業であるホタテガイ養殖漁業は地区全体陸揚高の約9割を占めている。

当地区では、近年の波高増大を受けて、沿岸漂砂が定常的に港口に堆積することで三角波が発生しており、漁船の待ち時間が発生するなど航行に支障を来している。さらには、船底が地盤に接触することで、船体の損傷やより慎重な航行を強いられていることから、これらの課題を解消するため、防砂堤を整備し、生産コストの削減や労働環境の改善を図る。

属地陸揚量:2,878t、属地陸揚金額:923百万円(R元)

●事業内容

- ・主な事業量 : 東防砂堤(新設) L= 50.0m
西防砂堤(新設) L=220.0m
- ・事業費 : 1,200百万円
- ・事業主体 : 北海道
- ・事業期間 : H27年~R5年
- ・B/C : 1.15

静狩地区位置図



事業メカニズム



①西防砂堤は沿岸流と共に流れる漂砂が港口へと向かうのを防ぐ

②東防砂堤は岩礁にあたり戻ってきた沿岸流と漂砂を港口に向かうのを防ぐ

漁船の待ち時間の発生



船底の衝突

